

知床五湖利用コントロール導入実験(第3回)実施要綱 (案)

1. 目的

世界自然遺産知床の代表的な観光地である知床五湖では、混雑に伴う植生浸食、ヒグマ出没の危険と度重なる閉鎖による不安定な運用などの課題が指摘されておりました。これらを解決し、ビジターの皆様により深く自然を体験してもらうことを目指して、自然公園法による利用調整地区制度を柱とした新しい利用のあり方を、H23年度からスタートさせる予定です。その一部として、ヒグマ活動期(5月～7月)の地上歩道については、環境への配慮や、ヒグマに遭遇時の対処方法を習得した登録引率者同行のグループのみで利用することとなります。

本実験では、これまでH20年11月、H21年6月に実施された導入実験を継承し、研修・検定を受けた実験引率者が一般の利用者を引率するモニターツアーを実施することにより、より良い制度導入のための運用体制の確立を目指しています。

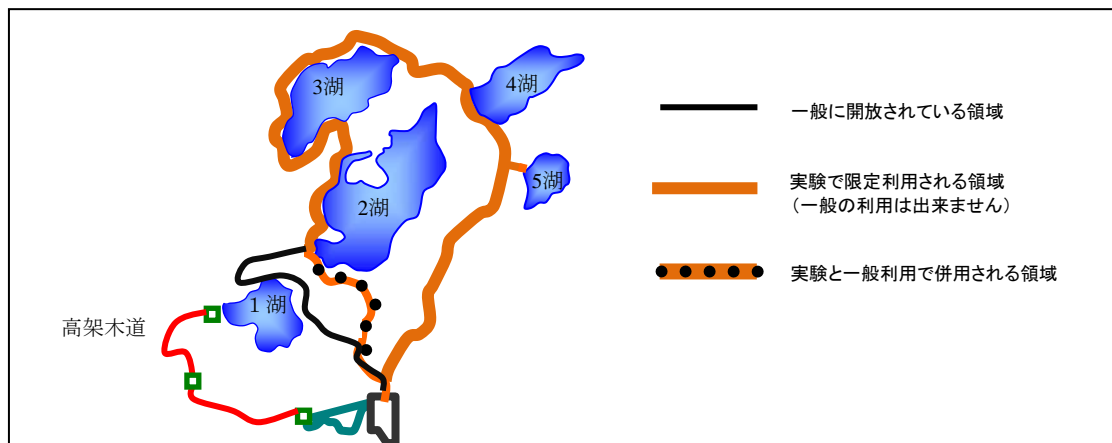
2. 実験概要

- 実験引率者が参加者を引率するツアーのみで3-5湖遊歩道を限定利用します。
- 実験期間中、高架木道および1-2湖遊歩道は一般利用可能です(1-2湖遊歩道はヒグマ出没時には閉鎖されます)。
- 実験引率者は事前の研修・検定を経て、ヒグマ対処法や環境への配慮方法についての知識・技術を有すると確認されています(*7 参照)。
- ヒグマ遭遇時の危機回避を行うために、無線等によるバックアップ体制をとっています(*6 参照)。

3. 主催者 知床五湖の利用のあり方協議会

4. 実施日時 平成22年6月19日～7月19日

5. 実験時の遊歩道および高架木道利用状況



6. ヒグマ遭遇時の危機回避の体制

当実験が行われる期間は、ヒグマが知床五湖周辺で活発に活動している期間です。ヒグマに関する危険を回避するために、以下の対応を取っています。

- ヒグマ遭遇時には実験引率者がツアー参加者を掌握して一時的な危機を回避します。
- ヒグマに遭遇したグループ以外にも危険が及ばないようなバックアップ体制をとります。
 - ・ 引率者は無線機を携帯し、緊急時には受付や他ツアーの引率者と連絡を行います。
 - ・ 受付が無線連絡センターとなり、緊急時の避難誘導指示や情報の整理を行います。
 - ・ 必要に応じてヒグマ対策専門スタッフの応援を要請します。

7. 実験引率者について

- 当実験における引率者は、以下の要件を必要とします。
 - ◇ H21年6月の知床五湖利用コントロール導入実験において研修・検定を受け、実験登録ガイドとして登録された者。
 - ◇ H22年の実験における引率を希望し、下記の登録研修を受講した者。
- 登録研修
 - ◇ 日程：5月19日(水)・5月25日(火)
上記2日のいずれか1日に参加
 - ◇ 内容：H21年実験時の登録時研修に準じ、ルール変更等に対応して改訂。
午前：ルールの確認。ケーススタディ
午後：五湖でのシミュレーション
- 引率者の正式登録・新規公募について
 - ◇ 当実験では、H21年より継続した引率者に限定して運用実績を蓄積し、各種検証を行うことにより、H23年度から発足する制度の安全性を高めることを目指しています。よって、当実験に関しては新規の引率者の募集及び研修は実施いたしません。
 - ◇ H23年度以降の正式な登録引率者となる手続きは、H22年11月(予定)の登録検定より開始されます。引率者の新規公募についてはH23年春から開始し、H24年より引率が可能となる見込みです。

8. 実験ツアー概要

- ツアーの定員は10名です(引率者を含んで1グループ最大11名)。
- ツアーコースは、1湖を経由せず、入口→5湖→4湖→3湖→2湖→出口とします。
- ツアー時間は2時間45分とします(集合から解散までをツアー時間に含めます)。
- 各ツアーのスタート間隔は15分とします。
- 同時に遊歩道内でツアーを実施しているグループ数は最大8グループとします。

9. 実験ツアー運用ルール概要

- ツアー実施中は参加者の安全を第一に考える。
- 前のグループの追い越しはしない。
- 前後のグループの進行を妨げない。
- 大きな音を出さない(ヒグマに対する危機回避の場合を除く)。
- 歩道を踏み外さない(ヒグマに対する危機回避の場合を除く)。
- ヒグマを目撃した場合は、目撃情報を速やかに無線連絡し、遭遇時フローに従う。
- ヒグマを見ることを目的にしない。
- 集合から解散までをツアーとし、設定された開始・終了時間を厳守する。

10. 実験ツアー参加者の皆様への留意事項

- 一部整備されていない遊歩道を3時間程度歩く体力が必要です。
- 適切な服装・装備をご用意ください(靴・雨具など)。
- 引率者の指示には必ず従ってください(飲酒された方はご遠慮いただきます)。
- ペットの同伴は出来ません。(身体障害者介助犬についてはツアー実施事業者にご相談願います)
- ヒグマの危険回避等の理由により、コースをすべて回ることができない、時間が大幅に変更になるなど、予定変更の可能性があります。あらかじめご了承ください。

11. 費用

- 実験ツアーの参加費は有料です。
- 料金はツアー実施事業者が自由に設定できます。
- ツアー参加者は代金を直接ツアー実施事業者に支払います。
- H23年度以降には有料と想定されているツアー参加者1人あたりの手数料や登録引率者の研修・登録費用は、本実験については無料とします。

12. 事前予約および当日受付の方法

- ツアー参加には事前予約が必要です。
 - ・ WEBサイト上に公開される「ツアー予約受付システム」を利用して予約が可能です。
 - ・ ツアー実施事業者に直接申し込むこともできます。
 - ・ 全てのツアー予約状況は「ツアー予約受付システム」上で一元管理します。
 - ・ 「ツアー予約受付システム」は4月19日より公開します。
- ツアー実施時間枠の調整・予約に関する問い合わせ窓口は、**知床斜里町観光協会等**が行います。
- 引率者は引率するツアーの参加者受付リスト(参加者氏名、年齢を記載)を作成します。
- ツアー当日、引率者が提出した参加者受付リストをもとに、受付において本人確認を行います。

13. 知床五湖駐車場の混雑対策

実験ツアー参加者は比較的長時間五湖エリアに滞在するため、駐車場の混雑が予想されます。7月13日からはマイカー規制が開始され、実験ツアー参加者にはシャトルバスの利用を推奨致します。

14. 検証事項・検証体制

- ヒグマとの遭遇頻度
- 遭遇事例の蓄積から運用体制・ルールの改善
 1. 全てのヒグマ遭遇事例を記録します
 2. 遭遇記録は、ほぼリアルタイムに受付施設で参照できる体制を目指し、無線および帰着報告時に、短時間で必要十分な情報の聞き取りができる書式を準備します
 3. 遭遇事例のいくつかについては、全引率者と管理者参加で詳細なケーススタディを行い、判断基準等の共有化を目指します
- 駐車場等の渋滞状況
- 予約システムの検証
- 各種アンケート調査
 1. 実験ツアー参加者への満足度調査
 2. 実験ツアーに参加しなかった人への調査
 3. 実験の周知に関する調査